

連合北海道「就活応援セミナー第8弾」開催報告

2月21日(日)、連合北海道は札幌市内の自治労会館において、「就活応援セミナー第8弾」を開催した。本セミナーには、学生や大学職員など23名が参加した。



セミナー開会前は、前回同様「NGなしの立ち話コーナー」を設置し、官公庁や企業など約20名程度の組合員が参加者の学生らの質問に対し、働く先輩としてアドバイスした。

冒頭、主催者を代表して杉山元連合北海道事務局長が「連合北海道は、若者の不安定雇用の増大に危機感を持っている。本セミナーを通して、若者自身が働くということやワークルールの知識を身につけてほしい。」と述べた。

第一部では、(株)キャリアセンター代表取締役 渋谷文武氏が「第一志望から確実に内定をとる方法～ES・面接編～」と題して講演を行った。「面接での自己PRや志望動機は、内容そのものよりも感情の豊かさや態度のほうがポイントになる。」と話し、「今後、就活していくなかで、大きな壁が立ち上がることもある。ネガティブを取り除いて自分らしく輝いてほしい。」と参加者の学生にエールを送った。



第二部では、齋藤勉連合北海道副事務局長が「学校教育のなかにおいて、労働分野に関する教育が乏しい。ワークルールの知識不足によるブラック企業が存在している。就活は職場の雰囲気や対応など、自分の目で確かめることが重要だ。」と述べ、求人票や募集広告の見方とポイントについてもアドバイスした。

第三部では、『「辞めない会社選び」を本音トーク』と題してトークセッションを行った。石井耕北海学園大学教授をコーディネーターとして、市役所・旅行業・金融の3業界の労組役員と齋藤連合副事務局長がパネル討論を行った。



「入社後の新人研修」や「配属や転勤の仕組み」、「男女雇用均等の実態」について、各パネラーがざっくばらんに話した。「職場に育児休暇や短時間勤務の制度があっても、実際に取得できているのか。」などといった会場とのやりとりもあった。